

スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科  
2020年度～2021年度卒業生  
2022年度～2023年度在籍の学生の皆さまへ

## 研究に関する説明文書

### 1. 研究課題名

スポーツ健康科学部の学業基準と学修支援に関する研究

### 2. この研究の目的と意義

スポーツ健康科学部の学生さんが、学業と運動部活動の両立を達成するため、また将来の進路についての意識を高めてもらうために、早い段階で学修支援が必要な方の把握をして、単位不足の為に進級できなかつたり、意に反して退学することにならないようにするための対策をとることが必要です。また、同様のスポーツ系の他大学においてどのような取り組みをしているかを調べることで、本学スポーツ健康科学部の、今後の学業基準の指標を作成する一助となると考えています。

### 3. 研究方法

- ①大学スポーツ協会（UNIVAS）、全国大学体育連合の研究成果等を利用し、本学部開設時の入学生（2017年4月）～2023年度入学生（2023年4月入学）の年度ごとの単位修得数のデータを照らし合わせ、スポーツ系学生の学修支援導入の背景と目的を検討します。
- ②他大学のスポーツ関連学部の聞き取り調査、資料の取り寄せ（スポーツ系学部を持つ全国の大学から選考）を行い、修学のための単位基準、学修支援に関する事例を研究します。
- ③本学と他大学の学業基準や支援の取り組みを比較し、履修制度の特徴、学生の能力の違い、本学に不足する内容や方法など課題を見つけ、今後の指針作成へと役立てていきます。
- ④選択した大学の中で、教員養成に特化した大学、キャリア支援の好例となる事例も採りあげ、進路に合わせた学業基準や方法が制度化されている例も検討していきたいと考えています。

### 4. 研究実施期間

研究対象とする期間 2017年4月1日～2024年3月31日

研究期間 承認日～2024年3月31日

### 5. 研究の実施体制

中部学院大学スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科

（研究責任者）教授 水野かじみ : データ収集・分析・論文作成・学会発表

（共同研究者）教授 藪下武司 : データ収集・分析・論文作成・学会発表

### 6. この研究への参加に伴って生じる負担及び予想されるリスクについて

この研究は、厳重に大学の保管されている既存の成績データを用いる研究であるため、研究への参加に伴い生じる負担やリスクはありません。

## 7. 研究への参加とその撤回について

この研究への参加はあなたの自由意思によるものです。いつでも参加を取りやめることができます。同意されなくても、あなたに不利益になることは全くありません。

<研究への参加を拒否する場合の連絡先>

担当部署：中部学院大学総合研究センター（教育研究支援課内）

住 所：〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目 1 番地

電話番号：0575-24-2238

F A X : 0575-29-3000

## 8. 研究に関する情報公開の方法

研究の最終的な結果は学会や学術雑誌で公開される予定ですが、結果は情報をまとめた形で報告されますので、あなたのお名前などの個人情報も特定されることはありません。

## 9. 研究に関する情報の提供について

研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、問い合わせ窓口までお申し出ください。

## 10. 個人情報の取扱いについて

氏名等の個人が特定される情報は削除し匿名化します。

## 11. データの保管及び廃棄の方法

研究情報を取扱うコンピュータをパスワード管理し、情報の紛失・遺漏等を防止します。また、データ情報のファイルにはパスワードを設定し保存し、研究責任者が責任をもって保管します。同意の撤回（中止の申し出）があったデータ等については、登録時から、データを破棄します。研究終了後、試料は原則論文発表後5年、研究等の実施に係わるデータ等は論文発表後10年間は保存し、その後、適切に廃棄します。

## 12. 研究にかかわる資金源および利益相反について

今回の研究は既存の成績データを活用して研究するものであり、本研究に参加することによる研究対象者の費用負担や直接的な利益は生じません。また、研究遂行にあたって、研究の結果及び結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反は存在しません。

## 13. 研究対象者等及び関係者からの相談対応

### 【相談窓口】

中部学院大学 教育研究支援課

所在地：〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目 1 番地

連絡先：0575-24-2238

E-mail：cgrd@chubu-gu.ac.jp

## 14. 知的財産権の帰属について

知的財産権が生じる可能性があります。その権利は、研究者および中部学院大学に帰属します。研究に参加していただいた方に、この権利が生じることはありません。 以上